

第6学年 国語科学習指導案

1. 単元名 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう
「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」

2. 単元のねらい

- 平和について関心をもち、自分なりの考えをもって計画的に話し合ったり、読んだり書いたりしようとする。【関心・意欲・態度】
- 意図がはっきり伝わるように、事実と考え・意見を区別し、的確に話すことができる。【話す・聞く】
- 話の組み立てに注意し、意図をつかみながら聞くことができる。【話す・聞く】

3. 指導にあたって

こんな子どもだから

- 本学級の子どもたちは、学習中自分の考えをもち、意欲的に発表することができてきている。しかし、伝えたい内容を整理し、相手に分かりやすく的確に話したり、話の要点をつかみながら聞いたりする力は十分に育ってはいない。
- 子どもたちは、これまでに、「みんな生きる町」で、調べたことを分かりやすく伝えるために、資料を効果的に使って発表してきた。また、「学級討論会しよう」では、パネルディスカッション形式での話し合いを経験してきている。その中で、自分の考えをもち、意見を述べたり、質問をしたりするなど、意欲的な発言が見られたが、話し手の意図を伝え、自分の考えと比べながら意見をまとめたり、自分の考えを深めたり、広げたりするところまでには至っていない。
- 本単元では、自分の考えをまとめ、発信する活動を通して、意図がはっきり伝わるような話し方を工夫したり、話し手の意図を考えながら話を聞いたりする力を身に付けさせていきたい。それにより、目的や意図に応じて伝えたいことを表現できる力を育てていきたいと考える。

〇〇キラキラ学習とのかかわり

- 子どもたちは、〇〇キラキラ学習において、保育体験や老人福祉施設での交流体験を通して、園児やお年寄りとのかかわり方で大切なことについて、考えてきた。いくつかの課題別のグループに分かれて話し合い、考えの根拠をはっきりさせ、グループでまとめた考えをもとに、全体で意見を交流し合った。その中で、体験や具体例を含めた話し方や相手の主張・質問を踏まえた発言の仕方など、国語科で培った力を生かして、自分の考えを伝えてきている。
- 本単元では、意図をはっきり伝えるために、事実や考え・意見を区別し、筋道をはっきりさせて的確に話したり、意図を考えながら話を聞き、自分の考えと比べながら意見をまとめたりする力を身に付けさせていきたい。
- 本単元で学習したこのような力を、〇〇キラキラ学習の話し合い活動に生かしていくことで、自分の考えを発信しようという意欲をもち、目的や意図に応じて、伝えたいことを効果的に表現する力が高まっていくのではないかと考える。

こんな支援で

- 学習に興味・関心をもつことができるような「平和」に関する資料を準備しておく。
- 話し方の例を示し、伝えたい内容を的確に話すことができるようにする。
- 独話活動での経験を生かし、話の要点を押さえながらメモを取ることができるようにする。
- 自分の考えを分かりやすく相手に伝えるために、効果的な文章構成になっているかを考えながら文章の推敲をさせるようにする。
- パネルディスカッション形式での話し合いを通して、互いの考えの相違点や共通点をはっきり分かるように、板書を工夫したり、助言を加えたりする。

こんな力を

- 自分の考えを聞き手に分かりやすく的確に話すことができる。
- 話の要点をメモに取り、意図をつかみながら話を聞くことができる。
- 自分の考えを明確にするために、効果的な文章の組み立てを考えることができる。
- 自分と友だちの考えの共通点や相違点を明確にしながらか話し合い、考えを深めたり、広げたりすることができる。

4. 主な学習活動と内容・評価規準および教師の支援(14時間)

学習過程 (配時)	主な学習活動と内容	評価規準	教師の支援
つ か む (5)	1. 「平和のとりでを築く」の題名から考えたことを話し合い、これからの学習のめあてをもつ。① ○ 学習のめあての設定 2. 本文を読み、自分の読みをまとめる。② ○ 文章構成をとらえた読みのまとめ 3. 要旨をとらえるための視点について話し合う。① ○ 要旨をとらえる視点についての話し合い 4. 自分の読みを見直し、要旨をまとめる。① ○ 要旨のまとめ	【関・意・態】 筆者の考えを受けて平和について自分なりの考えを持つ。 (行動観察・ノート) 【読む】 考えの根拠を明確にし、内容を的確に押さえながら、要旨をとらえることができる。 (行動観察・ノート)	※ これまでの平和学習や修学旅行のことを想起しやすいように、関係資料の提示をする ※ 文章構成に着目して、本文の読みをまとめさせるようにする。 ※ 要旨を的確にとらえられるように、文章構成に着目させる。 ※ 自分の考えの根拠をはっきりさせてまとめやすいように、掲示物でふり返る。
さ ぐ る (8) 本時 12 / 14	5. 戦争や平和について知っていることを出し合い、テーマを決める。① ○ テーマの決定 6. テーマについて調べ、考える。② ○ テーマについての追究 7. 調べた情報をもとにまとめ、発表原稿を書く。② ○ 効果的な文章構成による記述 8. 発信の練習をし、原稿を見直す。① ○ 発表練習 ○ 原稿の推敲 9. 自分の考えをパネルディスカッション形式の話し合いで発信し交流する。(本時)① ○ パネルディスカッション形式での話し合い 10. 文章表現を工夫し、意見を書きまとめる。① ○ 効果的な文章表現による意見のまとめ	【話す】 伝えたい内容を相手に分かるように的確に話すことができる。 (行動観察・発表原稿・自己評価欄) 【聞く】 話の要点を押さえながらメモを取り、話し手の意図を考えながら聞くことができる。 (行動観察・聞き取りカード) 【話し合う】 自分の発表と友だちの発表を比較したり、よさを取り入れたりしながら、話し合うことができる。 (行動観察・聞き取りカード・自己評価欄) 【書く】 文章の組立てを考えて、相手に分かりやすく書くことができる。 (行動観察・原稿)	※ 「平和のとりでを築く」の学習内容を想起しながら、自分の考えをまとめられるようにする。 ※ 文章の組立ての具体的な例を示し、うまく原稿が書けない子どもが参考にできるようにする。 ※ 書きたいまとまりごとに用紙を変え、順序を動かし易いようにしておく。 ※ 発表原稿や資料をもとに、自分の考えの主張点をはっきりさせながら話すようにさせる。 ※ 文章の組立てを考え、効果的な表現を工夫しながら文章を書くことができるようにする。
ふ り 返 る (1)	11. パネルディスカッション形式の話し合いの仕方、意見文の書き方についてふり返り、まとめる。① ○ 学習のふり返り	【関・意・態】 これまでの学習をふり返り、自分の考えをまとめている。 (行動観察・評価カード)	※ 書きまとめた文章をもとに自分の考えを明確にさせる。

6. 本時目標

- 話の組み立てに着目しながら聞いたり，計画的に話し合ったりすることで，自分の考えを深めたり，広げたりする。 【関心・意欲・態度】
- 自分の意図が伝わるように，事実と考え・意見をはっきりさせながら的確に話したり，友だちの意図をつかみながら聞いたりして，適切な質問や意見を述べ，自分の考えを見直すことができる。 【話す・聞く】

7. 本時指導の考え方

本時までには，子どもたちは，追究課題について，どのようなことを調べれば自分の考えを分かりやすく伝えることができるかを考え，情報収集を行い，要旨をまとめてきた。その際，文のまとめりごとの順序の入れ替え，付加・削除する箇所，事実と考え・意見の区別など伝えたいことが相手に分かりやすく伝わるように文章の見直しができた。これによって，自分の意図がはっきり伝わるような文章構成を考えることができた。さらに，考えにより説得力をもたせるために，集めた情報の中から資料を準備し，効果的な提示の仕方も考えさせている。

本時では，「世界の平和を維持するために大切なこと」について，互いの意見を交流し合い，友だちの考えを聞きながら自分の考えを見直すことをねらいとしている。そのために，主張の違いが明確な3人のパネラーに考えを発表させ，友だちの考えとの共通点や相違点をはっきりさせながら，自分の考えと比べることができるパネルディスカッションを行う。このような交流活動を仕組みれば，自分の考えを深めたり，広げたりして，考えを多面的に見直すことができると考える。

まず，前時までの学習をふり返り，本時学習のめあてを確認する。どのように話し合いを進めたらよいか方向性もはっきりさせておく。パネルディスカッション形式での話し合いの進め方について確認し，見通しをもって話し合いに参加できるようにする。

次に，テーマ「世界の平和を維持するために大切なことは何か」について，パネルディスカッション形式で話し合う。進行，記録（板書）は教師が行う。テーマの確認をし，どんな内容について話し合うのか意識させる。3人のパネラーが，課題について調べたことをもとに自分の考えを主張する。このとき，自分の考えが分かりやすく相手に伝わるように，発表原稿をもとに話したり，考えの根拠となることを資料を提示しながら説明したりすることができるようにする。フロアーには，パネラーの主張を聞きながら，学習カードに話の要点だけをメモさせるようにする。全体交流では，各パネラーの主張に対し，フロアーが質問や意見を述べる。フロアーは，発表原稿をもとに自分の考えの根拠をはっきりさせて話すようにさせる。話し合いの中で，子どもたちが考えを整理しやすいように板書を工夫するとともに，必要に応じて話し合いの仕方，子どもたちの発言について助言を加えながら支援していきたい。

さらに，話し合いを通して，思ったこと・感じたこと，友だちの考えのよかったところ，自分の考えの変わったところなどについてまとめ，自分の考えを見直すようにさせる。まとめた考えを全体で交流し，いろいろな考えのよさに気付かせ，話し合い活動の楽しさを感じさせたい。

最後に，本時の話し合いを通して，「話す・聞く」ことについての自己評価をさせる。学習カードの自己評価欄の観点に沿って活動をふり返らせることで，これからの話し合い活動への意欲をもたせていきたいと考える。

8. 準 備

- 教師 … 評価カルテ 児童発表内容一覧表
- 児童 … 発信原稿 発表資料 学習カード

9. 本時学習の展開

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <p>○ めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">めあて</p> <p style="text-align: center;">「世界の平和を維持するために大切なことは何か」について話し合い、自分の考えを見直そう。</p> </div>	<p>※ 前時までの活動をふり返り、本時の活動の方向性について確認する。</p>
<p>2. テーマについて、パネルディスカッション形式で話し合う。</p> <p>～テーマ～ 「世界の平和を維持するために大切なことは何か」</p> <p>○ 話し合いの進め方について ○ テーマの確認 ○ 考えの発信・交流</p> <p>パネラー A() 3人 B() C()</p> <p>進行・記録(板書)…教師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネラーによる主張 ・全体での意見交流 ・パネラーによるまとめ <p>3. 話し合いをふり返り、自分の考えを付加修正する。</p> <p>○ 自分の考えの見直し</p>	<p>※ パネルディスカッション形式の話し合いの進め方を掲示し、見通しをもって話し合いに参加できるようにする。</p> <p>※ 話し合いの進行は教師が行い、状況を見ながら、発表を促したり、意図的に指名したりして、話し合いが活発に進められるようにする。</p> <p>※ 考えがより深まるように、主張の違いが明らかに異なる子どもをパネラーとして3名選ぶ。</p> <p>※ 話し合いの内容が視覚的に分かりやすくとらえられるように板書を工夫する。</p> <p>※ 子どもたちの意見や質問のよさについても評価し、活動への意欲をもたせるようにする。</p> <p>※ 発表原稿や資料をもとに、自分の考えの主張点を相手に分かりやすく伝えるようにさせる。</p> <p>※ 学習カードを用意し、話し手の主張をよく聞いて、話の要点をとらえてメモを取るようにさせる。</p> <p>※ 自分の考えが話し合う前よりも深まったり広まったりしたことを発言させていき、話し合いの意義を感じられるようにする。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">評価規準</p> <p>【話す・聞く】</p> <p>パネルディスカッション形式での話し合いを通して、自分の意図が伝わるように、事実と考え・意見をはっきりさせながら的確に話したり、友だちの意図をつかみながら聞いたりして、適切な質問や意見を述べ、自分の考えを見直すことができる。(行動観察・発表原稿・学習カード)</p> </div>	
<p>4. 今日の学習をふり返る。</p> <p>○ 学習カード(自己評価欄)</p>	<p>※ 学習カードの自己評価欄で「話す・聞く」活動について、観点に沿ってふり返りをさせる。</p>